
日本一の男達の旅

矢部野 和麻呂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

日本一の男達の旅

【Nコード】

N3679P

【作者名】

矢部野 和麻呂

【あらすじ】

一緒に旅することになった早川と士、その瞳で二人は何を見る！

注これは日本一の男と世界の破壊者の続きです
まだみてない人はそちらをさきにお読みください

バイオハザード編 その1

「さて、今度はどこの世界だ？」

「まあ、絵を見れば分かるっ……」

いきなりユウスケは、口を開かなくなった

「どうかしました？ ユウスケ……」

「おいおい、何かあったのか……」

「こ、これは」

そこに書いてあったのは、一見普通の都市だが、正に地獄絵図、書いてある住民は、ほかの住民を食っていた

「な、なんだこりゃ!？」

「ひ、ひどい」

「ここが、俺の最初に旅する世界か」

「こりやまたひどい世界に来ちまったな」

「早川さんの仇は現れるんでしょうか？」

「さあな、つだが今回の旅はやばい気がする」

早川と士の顔色は、真っ青だった

「とりあえず、外に出よう」

「そうだな、動かなきゃ意味がない」

「お、おう」

そういつて士達は外にでていった

そこには車が置いてあり、運転をしてる人は金髪で外国人だった

「あんたは？」

不意に早川がその男に話しかけた

「今日、ラクーンシティに配属された、レオン・S・ケネディだ、スコット

あんた達もラクーンシティに

配属される警官だろ？」

「何？」

早川と士は、ポケットに手をやると警官手帳があった

「ええつと、門矢 士、巡查」

「早川 健、警部補」

「ちよつとまで、何で早川の方が階級が上なんだ！」

「俺は、どんな世界にも愛されているのさ」

「くっ！」

「おまえらなんの話をしているんだ？」

レオンが早川達に聞いてきた

「ああ、すまんこつちの話」

「ふーん」

「さあ、行くか」

そういつて車に乗る早川達

「ナツミカン達は写真館でまってる」

「あ、ちよつと土く・・・」

ブオオオオン

夏海が言い終わる前に車は出て行った

まさかこれが最初の世界になるとは早川は、おもわなかった・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3679p/>

日本一の男達の旅

2010年12月8日01時26分発行